

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市わーくす川崎	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援(定員6名) 月平均在籍者数 2.5名 ・就労継続支援B型(定員34名) 月平均在籍者数 36.4名 																																							
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>74,815千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>72,520千円</td> <td rowspan="8">-11,133千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>60,629千円</td> <td>人件費</td> <td>50,462千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>5,541千円</td> <td>事務費</td> <td>9,325千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>10,719千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>2,014千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,645千円</td> <td>施設整備等</td> <td>13,428千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74,815千円</td> <td>合計</td> <td>85,948千円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	74,815千円	福祉事業活動	72,520千円	-11,133千円	給付費	60,629千円	人件費	50,462千円	川崎市独自扶助	5,541千円	事務費	9,325千円	指定管理委託料等	0千円	事業費	10,719千円	拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	2,014千円	その他	8,645千円	施設整備等	13,428千円	合計	74,815千円	合計	85,948千円	※端数処理のため合計が一致しないことがあります。				
収入		支出		収支差額																																				
福祉事業活動	74,815千円	福祉事業活動	72,520千円		-11,133千円																																			
給付費	60,629千円	人件費	50,462千円																																					
川崎市独自扶助	5,541千円	事務費	9,325千円																																					
指定管理委託料等	0千円	事業費	10,719千円																																					
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	2,014千円																																					
その他	8,645千円	施設整備等	13,428千円																																					
合計	74,815千円	合計	85,948千円																																					
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族の個別ニーズを反映した個別支援計画を作成している。支援に当たっては、事前説明を確実にし、利用者の潜在的に持っている力を引き出すことに努め、長所、できる部分を評価し、成功体験を積み重ねる利用者中心の支援を行った。 ・就労継続支援B型においては、複合施設内の清掃を受注しているとともに、川崎市が主催する「おそうじプロジェクト」に今年度より参加して清掃スキルの強化に取り組んだ。平均工賃については、開所以来最高額だった昨年度には及ばなかったものの、同額程度の工賃になった。 																																							

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5~100%,4~80%,3~60%,2~40%,1~0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者の自己選択・自己決定を尊重した個別支援計画に基づいて支援を行っている。支援に当たっては、本人が働く意欲、作業能力を高めるために、個々の障害特性を把握し、「やればできる」という自信を持たせる支援を行っている。 ・就労移行支援事業においては、定員6名のところ平均2.5名の受け入れを行っている。利用が低迷しているが、利用者が社会人としての自己評価するチェックシートを設け、就職への意識を高める支援を行い、1名が就職に、1名が就労継続支援A型事業所に就労した。 ・就労継続支援事業においては、作業能力・態度について記載してある「評価表」などを活用して、利用者の長所やできる部分の評価を行い、利用者の個々の長所などを引き出す機会をつくり、利用者のやる気向上を図っている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、見込になかった拠点区分間の支出があり、予算を上回った。 ・収入については、予算額を下回り、また、収支差額が赤字となった。 ・会計基準に基づいた適正な会計処理ができています。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・個別支援計画は、利用者・家族をはじめ、わーくす川崎の三者面談の形で行っている。また、多角的な視点での利用者を支える体制をつくるため、必要に応じて区保健福祉センター・相談支援センターなども同席のうえ作成している。 ・昨年度から開催した利用者の会も順調であり、家族連絡会や家族との連絡帳、みんなの声BOX(意見箱)、写真付きが好評な「わーくす川崎通信」等を活用して信頼関係を築いたことで、今年度においては、苦情案件は発生しなかった。 ・利用者の「どのような福祉サービスがあるかわからない」という意見に答えるために家族連絡会では講師を招き研修会を実施した。また、今後の福祉サービスの有効な活用のため、グループホームの利用の啓発として、家族を踏まえた施設見学会を実施した。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・職員の人事評価を今年度から試行ではあるが開始した。日頃の面接や支援をしている姿などを見て、本人の苦手を補うような課題に合った研修を行っている。 ・年4回の防災訓練を実施。その内2回は法人合同、ふれあいプラザかわさき合同での訓練を実施した。地域避難所である川崎中学校への避難訓練を実施するなど、災害時を意識した訓練ができています。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・各種保守点検、警備等については、適切に実施されている。 ・日常清掃は利用者自らが実施。定期清掃については業者委託により行われており、美観と清潔さが保たれている。 					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・事業開始4年目として、前年度までに構築した利用者・家族との信頼関係や業務の標準化等を土台として、本来の事業目的である個別支援を軸とした就労支援を実施し、2名が就労に結びついたことは評価できる。
・各区保健福祉センターをはじめ、相談支援センターや専門機関と連携し、適切な役割分担の下、利用者の生活全般を視野に入れたサービス体制の構築に努め、利用者・家族の安心につながっている。また、川崎区地域自立支援協議会に参加し、地域の福祉施設や当事者団体とのネットワークづくりに取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・指定管理期間の最終年度の来年度においては、わーくす川崎が主体になってできるイベントや専門知識を生かした研修会の開催など、地域貢献できる事業について検討すること。